

2010.10

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1 (サンパル10階)

●東部センター／857-3601 ●西区センター／993-0066

●中部センター／521-8000 ●北区センター／596-3181

●西部センター／621-6880 ●本 部／252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>



シルバー こうべ

住宅用火災警報器の設置はお済みですか？

設置猶予期限終了まで あと8ヶ月です

法律により、すべての住宅に「住宅用火災警報器」の設置が義務づけられています。

既存の住宅にも **平成23年5月31日** までに設置しなければなりません。

住宅火災による死者の6割以上を、高齢者の方々が占めています。

万一のときに備えて、一日も早く設置をお済ませください。



住宅用火災警報器とは？

火災の煙を自動的に感知して警報を鳴らし、逃げ遅れてしまうのを防ぐための機械です。また、消火活動を早めて被害を小さくする効果もあります。



どんな効果があるの？

昨年市内で起こった住宅火災を、火災警報器を設置していた場合と、設置していなかった場合と比較したところ、損害額に5倍以上の差がありました。また、火災100件あたりの死者数も大幅に減少することが分かっています。

家のどこに設置するの？

「台所」と「寝室」には必ず設置します。戸建て住宅で上階に寝室がある場合は「階段室」にも設置します。

どこで購入するの？

ほとんどの電器店やホームセンターなどで購入できます。価格は1個3千円前後です。

設置するのは誰のため？

ご自身とご家族の命を守るためなのは当然ですが、素早い消火活動につなげて付近の住民を守るためでもあります。住宅用火災警報器を設置するのは、地域で生活するうえでのマナーといえます。

自分で取り付けできるの？

ご自分で簡単に取り付けられます。無理して天井に取り付ける必要はありません。壁や柱に壁掛け時計のように、フックなどでぶら下げるだけで有効です。また、設置を代行してくれるお店や団体もあります。

シルバー人材センターでも取り付けを行っています。
料金は1時間で1,500円程度(取り付け個数2・3個)ですが、詳しくは担当地域のセンターへお問合せ下さい。

住宅用火災警報器に関するお問い合わせは、
神戸市消防局予防課 TEL：325-8510 またはお近くの消防署まで



配分金支払日のお知らせ

9月分	10月分	11月分	12月分	1月分
10月15日(金)	11月15日(月)	12月15日(水)	1月19日(水)	2月15日(火)



流れる汗、また楽しからずや

～しあわせの村 屋外スポーツ施設～

入道雲湧き立つ八月の猛暑日、三宮から車で25分の「しあわせの村」を訪ねました。

神戸市北区にある「しあわせの村」は平成元年(1989年)4月に開所した総合福祉ゾーンで、205haの自然の中に高齢者、障がい者の支援施設、運動広場、多種類の屋外スポーツ施設、レクリエーション・宿泊・温泉施設が備わった市民の憩いの場となっています。その中の運動場、球技場、テニスコート、



入口からテニスコートを望む



球技場周辺を整備中のお二人

アーチェリーの指定管理者になっている「ミズノ」で就業するシルバー会員お二人、森島哲夫さん(61歳)と野元康博さん(64歳)を紹介します。

その日お二人は球技場(サッカー場が三面とれる)で雨が降ったあと凸凹になったグラウンドを鍬と熊手でならし、平らにされていました。仕事が終わった後、管理センターでお話を聞きました。就業は月に3日、9～15時(内、昼食1時間はさんで)。「働く動機は?」…お二人とも定年まで同じ会社、組織に居たので違う世界に触れたかったことと、家にいると邪魔者扱いされるので、と。(苦笑)「仕事の内容は?」…球技場ではグラウンド整備。テニスコートは15面とセンターコートが1面あり、コートの砂ならしと溝に溜まった砂の除去。アーチェリー場は的となる畳の取替。いずれも炎天下での作業。「ご苦労は?」…野外の仕事なので、暑さ対策が一番です。

森島さんは2リットル入りのジャーに塩、レモン、蜂蜜を入れた水を欠かさず、野元さんは首に「冷却シート」を巻くと大分違いますとのこと。赤銅色に日焼けした二人の話聞きながら「ミズノ」の宮武支配人は「シルバーさんの仕事ぶりには大変満足しています」と。今のところ月に3日程ですが、6、7日程お願いしたいとのご希望です。お二人に「休みの日の息抜きは?」…森島さんは趣味のテニス(ここのコートをよく利用されています)、ヨット、陶芸と充実した日々を送っておられ、野元さんはお孫さん連れてショッピングセンターやしあわせの村に来られるとの事。お二人とも「しあわせの村」は緑が多く色んな施設があり、シルバーの方には使いやすいので皆さんどうぞ活用してください、とのメッセージでした。

取材を終え退所する頃、眼下には明石海峡大橋、淡路島が夕陽に赤々と輝いており、改めて環境のよい就業場所と実感しました。



左から野元さん、宮武支配人、森島さん

